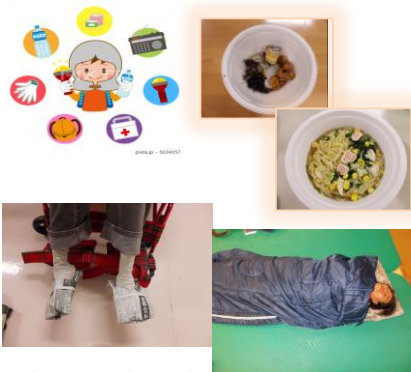


園内宿泊

3年前の東日本大震災の際に電車が止まったり、自宅のエレベーターが停まったりしたことにより、帰宅困難になった利用者・職員が多くいました。その経験をきっかけに防災に対しての話し合いを重ねてきましたが、今後の災害に備えることを目的として園内宿泊に取り組むことになり、10月31日から11月1日にかけて、園内宿泊を初めて実施しました。

今回は大地震が発生し、交通機関がストップしたことを想定し、園内で宿泊をするという設定で行いました。避難訓練の後、避難所を設け、防災用品や避難用具を確認し、災害体験として担架に乗ったり、新聞紙で簡易スリッパを作りました。食事は非常食の中から、みそラーメンとアルファ米、缶詰を選び、参加者全員で食事の準備をして食べましたが、思っていた以上の美味しさに驚きました。

その後、園内の活動室に寝袋を敷き寝ました。女性はゆっくり休めたようですが、男性はあまり眠れなかったようです。いつものとは違う環境で緊張もしたでしょう。災害時のストレスをいかに少なく支援できるか、今後も検討が必要です。



お菓子作り

白藤プロジェクトとのつながり

加賀福祉園では自主生産品での食品の“うり”がありません。そこで、近隣の東京家政大学で活動している「白藤プロジェクト」というサークルへ声をかけてみました。白藤プロジェクトでは米を苗から育て収穫したり、お米やお菓子づくりの研究や食育について取り組んでいます。新宿・高島屋で開催された「大学は美味しいフェア」に出店した米粉ロールケーキは、とても有名です。他にも食物アレルギーに対応したお菓子づくりなどにも挑戦しているとのこと、加賀福祉園で作っている米粉で、すてきなお菓子が作れないか相談をしてみました。白藤プロジェクトからは協力していただけるとの好意的な返答をいただき、園の調理室を使ってのお菓子づくりがスタートしました。園の栄養士も加わり、米粉を使った栄養価のあるお菓子づくりを進めています。今後、お楽しみ会や家族会で利用者さんやご家族の方々に試食していただき、ご意見を参考にして“加賀福祉園のお菓子”を誕生させていく予定です。ぜひ、楽しみにお待ちください。



明治安田生命販売

12月22日（月）に加賀と法人内他施設のメンバー9名で、明治安田生命・高田馬場支社様にて販売をさせていただきました。2回目となる今回の販売場所は、ビル全体ではなく、社員さんの休憩室でした。販売の当日は休みの日はざまであり、年末の忙しい時期でもあったため社員さんが思っていたよりも少なく、残念ながら完売することはできませんでしたが、2時間と短い時間、利用者さんは「いらっしゃいませ～」と声を出して一生懸命販売をしました。1回目も参加した利用者さんは、「前回に比べて人が少なく仕事観がなかった」という発言をしていましたが・・・「また、販売に行きたい」と早くも次への意欲をみせる利用者さんもありました。明治安田生命様からは、「利用者さんが各自の役割を一生懸命にされている姿や、販売終了時刻間近まで販売の意欲をみせている様子等がうかがえ、とても嬉しい気持ちになりました。」との感想をいただきました。企業内での販売を通して、障害を持った方を理解していただける機会にもなりました。



市場での作業

就労継続支援B型事業では、10月末から巣鴨にある豊島青果市場内の株式会社H&Gで、不定期ながら青果の袋詰め作業を始めました。



かかふくしえん 編集後記

あけましておめでとうございます。今年も加賀福祉園をよろしくお願いいたします。昨年は夏祭り、福祉園祭と皆様の多大なご協力のおかげで、無事どちらも大成功を収めることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。今年度は新しい試みとして、「ALL LIGHT」を3回発行させていただきました。今回は新年特別号として、新年のご挨拶と加賀福祉園の「今」を皆様にお伝えする紙面にしました。いかがでしたでしょうか。広報委員のみならず、職員全員で作り上げてきた「ALL LIGHT」を今後ともぜひご愛読ください。（牛木）



2015年1月 新年特集号



タイトルの「オールライト」には加賀福祉園でみんな輝いてほしいという願いが込められています。

編集・製作 加賀福祉園広報委員会

施設長より

昨年は、園内防災宿泊、東京家政大学・白藤プロジェクトとのお菓子作り、加賀福祉園ロゴマークの作成といういろいろな挑戦をした年でした。今年も、さらに充実していくよう取り組んでいきたいと思います。

また、ご家族・利用者の方にとらせていただいた満足度アンケートでは、板橋の地域に住み続けるために必要な社会資源などに対してのご要望をたくさんいただき、加賀福祉園として、今後、地域生活について更なる展開を考えていく必要があると感じました。

それは、既存の建物や方法にたよるばかりでなく、あらたな創造が必要です。今、加賀福祉園にある力だけでなく、地域やご家族、利用者の方のご協力・思いが必要です。

今年度、“地域で生活をする”をどう実現できるのか、職員・法人とともに向き合う一年にしたいと思っています。

今年もよろしくお願いいたします。

北川 悦子



今年もよろしくお願いいたします



新年のご挨拶

第一実習ホーム

あけましておめでとうございます。

旧年中は作業に追われる日々が多く、利用者の皆様は忙しさの中にやる気や充実感を見せて、笑顔を絶やさずに乗り切ってきました。

今年は、羊のように穏やかな一年であってほしいと願いつつ、就労継続支援の充実に向けてまいります。



第二実習ホーム

あけましておめでとうございます。

今年の干支は何と言っても羊！

ウール100%の暖かさには負けないよう、スタッフ一同温かい支援を心掛けてまいりたいと思います。

皆様が今年一年、素敵に輝く光となることを心より願っております。



生活介護

あけましておめでとうございます。

子供の頃はお正月というとワクワクしたのですが、年を重ねるにつれワクワクが減ってきてしまいました。



今年は、利用者みなさん、ご家族、職員とともにワクワクした一年にしたいと思います。

児童ホーム

あけましておめでとうございます。

児童ホームは今春より特定相談事業が始まり、子供の発達を地域で支えるとはどういうことか、今まで以上に向き合う事となります。就学前児童の相談については全国的にも、これからという分野ですので、実践の中でより良いものにしていくよう考えています。



本年もよろしくお願いいたします。